

## ビタミンD欠乏性くる病が改善したケース

井手麻子

### 【要約】

クライアントである女兒は、なかなか歩かない子だったので、3歳で小児科を受診、「ビタミンD欠乏性くる病」と診断された。以来、ビタミンDを外用していたが、なかなか改善しないため、3歳5ヶ月で健康相談にいたる。

初回の健康相談では、立ち続けることができないため、立ったまま靴をはけないし、歩行もままならなかった。それが、3回の健康相談で、うさぎ跳びができ、走ることができるようになり、すっかり改善した。

### 【主訴】

3歳 女兒

- ・ビタミンD欠乏性くる病
- ・血尿
- ・成長が遅い

### 【タイムライン】

体外受精で妊娠

0歳 助産院で自然分娩、出生体重 2,928 g

1ヶ月 顔に湿疹→全身に広がる

4ヶ月 予防接種/H i b・肺炎球菌

5ヶ月 予防接種/H i b・肺炎球菌・四種混合

6ヶ月 予防接種/四種混合

神奈川県から山梨に移住し、湿疹がよくなる。

1歳 胃腸炎

3歳 歩かない、X脚のため病院に

ビタミンD欠乏性くる病と診断、尿検査で血尿  
座っていることが多く、あまり動かない。

ぼーっとしているような感じ。

### 【手法とレメディー選択】

《健康相談》2019年2月13日

TBRにてレメディーを選択

1:1241 くる病

- 2 : 458 血尿
- 3 : 713 単一部分の発汗
- 4 : 1376 皮膚の乾燥
- 5 : 1468 発疹の痒み
- 6 : 687 単一部分の冷たさ
- 7 : 364 魚を嫌う

朝 : アルポ/Alum. LM1 骨の軟化、皮膚の乾燥 TBR96 位 (1. 2. 3. 7 欠け)

昼 : アルポ/Syph. LM2 骨の疾患に

夕方 : サポート小腸 (現在は、サポート腸) 栄養吸収

夜 : アルポ/Lyc. LM3 TBR6 位 骨の軟化・湾曲、血尿 ※ファタック MM

経過/スムーズに歩けるようになり、うさぎ跳びができるようになった。X 脚も改善してきた。

《健康相談》2019 年 4 月 23 日

TBRにてレメディーを選択

- 1 : 1241 くる病
- 2 : 283 膝関節
- 3 : 458 血尿
- 4 : 589 粘液をたくさん作る

朝 : アルポ/Alum. LM2 前回に引き続き TBR65 位 (1. 3 欠け)

昼 : アルポ/SyphLM3+Tub. LM3 骨の問題

夕 : サポート腎臓 血尿、骨の問題

夜 : アルポ/Lyc. LM4 前回に引き続き TBR2 位

経過/靴もたったまま履けるようになり、走るようになった。

しかし、血液検査の結果、血中のビタミンD濃度は低いため、外用ビタミンDの摂取量が最大値に引き上げられた。喉が渇くようで水分を大量にとる。

9月1日に病院にて血液検査、高アルカリフォスファターゼ、低ビタミンDと言われ、さらに外用ビタミンDの量を増やすよう指示され、納得がいかない。

《健康相談》2019 年 9 月 3 日

TBRにてレメディーを選択

- 1 : 1241 くる病
- 2 : 443 腎臓

3 : 301 肝臓

4 : 311 湯き

朝 : アルポ/Alum. LM3 前回に引き続き TBR19 位 (2 欠け)

昼 : アルポ/SyphLM4+Tub. LM4 骨の問題

夕 : サポート血 血の問題

夜 : アルポ/Lyc. LM5 前回に引き続き TBR46 位 (1.4 欠け)

### 【結果】

3 回の健康相談で、しっかり歩くこと、走ることもでき、かつ、良く動くよう活発になった。

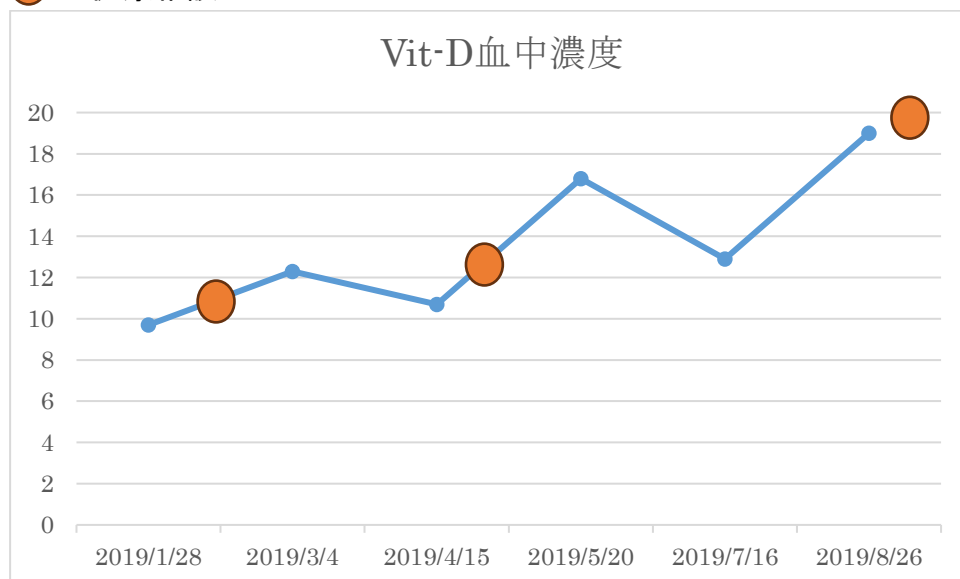
2019 年 9 月の時点で、血中ビタミンD濃度は、まだ基準値には到達していないが、運動機能に問題がみられないことから、クライアントの母親の判断で外用ビタミンDの服用を中止した。また、コロナ禍のため、これ以降は、病院に行かなくなり、検査も受けていない。

2024 年 7 月現在は、身長も伸び、バレリーナを夢見て、バレエのレッスンを受けている。

### 《参考》血中ビタミンD濃度 (クライアント様提供の検査結果から)

	2019/1/28	2019/3/4	2019/4/15	2019/5/20	2019/7/16	2019/8/26
Vit-D	9.7	12.3	10.7	16.8	12.9	19.0
健康相談	2019/2/13		2019/4/23			2019/9/3

● =健康相談



### 【考察】

くる病には、Alum. と Lyc. がいいと、CHhom 学生の時に学んだものの、TBRには、#1241 くる病のルーブリックには、Alum. が含まれないため、TBRの上位に、Alum. がでてくることはなかった。それでも、皮膚の乾燥と骨の軟化という症状がAlum. を示唆するので、あえて選択したところ、症状が良くなった。

3回の健康相談を通し、いい効果作用があるレメディーを変えずに選択し続けたことが良かったと思う。